

情報システムデザイン学科

●アドミッション・ポリシー

理工学部情報システムデザイン学科は、同志社建学の精神を尊重しつつ、学科独自に実践される固有の教育内容について、情報システム設計における学問領域の修得を目指して設置された科目とそれらを体系的に編成した履修課程を通して、情報システム設計の基礎及び応用を広く身につけ、一国の良心として様々な分野で活躍できる人材を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

情報システムデザイン学科の求める学生像

1. 一国の良心となる人物の育成という同志社大学の建学の精神を学び、本学の三つの教育理念であるキリスト教主義、自由主義、国際主義を理解しようとする学生。
2. 自然科学と理工学の基礎及び応用を身につけ、様々な分野で活躍できる人材を育成するという本学科の教育目標を受け入れ、本学科での勉学を強く望む学生。
3. 情報システムデザイン学科の人材養成の目的を受け入れ、専門分野の履修に必要な基礎学力をもち、それぞれの学問分野の習得を高い意欲と志をもって成し遂げようとする学生。
4. 情報システムデザイン学科の教育を通して、高い倫理観と学識をもつ研究者または技術者となって、新島襄が語った「人間のための科学技術」に貢献しようとする学生。

履修しておくことが望ましい教科・科目

英語

グローバル化が進む中、研究者及び技術者として活躍するには、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくことが必要です。よって、「読むこと」、「聞くこと」、「書くこと」、「話すこと」の四技能の基本知識を有していることが重要です。また、「人間のための科学技術」に貢献するためには、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を兼ね備えるよう努力してください。

数学

自然科学を理解し活用するためには、数学は重要であり、情報システムデザイン学科では、理工学における基礎科目として数学（例えば、解析学、線形代数学など）を学習します。よって、高校数学の基本知識を有していることが望ましいです。また、「人間のための科学技術」に貢献するためには、公式や定理等の知識だけでは不十分であり、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解、事象を数学的に考察し表現する能力、創造性の基礎を持ち合わせるとともに、数学の重要性と楽しさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断できる態度を兼ね備えられるよう努力してください。

理科

自然科学を理解し活用するためには、理科は重要であり、情報システムデザイン学科では基礎科目として物理学などの科目を学習します。このため、物理、化学、生物、地学など出来るだけ多くの科目に興味を持ち、自然科学における基礎知識を有していることが望ましいです。また、「人間のための科学技術」に貢献するためには、公式や名称などの知識だけでは不十分であり、自然現象に対する関心や探究

心を持ち、目的意識をもって観察・実験などに取り組み、科学的に探究する能力と態度を兼ね備えられるよう努力してください。

国語

情報システムを活用するためには、様々なデータを分析し、深く理解した上で、わかりやすく伝える力が重要です。情報システムデザイン学科では情報システム科目として人と情報システムとの関わりに関する科目を学習します。「人間のための科学技術」に貢献するためには、豊富な語彙により簡潔で理解し易い文章で表現する能力が必要です。国語の能力とそれを高める努力をする態度を兼ね備えられるよう努力してください。

●ディプロマ・ポリシー

- ・より豊かな社会や生活づくりに役立つ新しい情報システムを企画・設計・開発する技能を備え、学術的知見に基づいて本質を理解できる（知識・技能）。
- ・情報システムを企画・設計・開発するために身につけた知識・技能を活用して、あらゆる分野で課題を発見し、情報技術の恩恵を展開できる（思考力・判断・表現力）。
- ・社会の一員としての見地から社会全般の多様なニーズを捉え、未来を見つめた新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な幅広い知識を探求できる（主体性・多様性・協働性）。

●カリキュラム・ポリシー

(2017年度以降生)

- ・社会や生活に役立つ新しい情報システムの企画・設計・開発できる人物を育成するために、理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系の科目から構成される必修科目、選択科目 A 群 I 類、II 類と選択科目 B 群および C 群によって構成されるカリキュラムとして設置する。
- ・必修科目は、社会や生活に役立つ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を理解するために必要な基本的知識と技能を習得することを到達目標とし、1年次から3年次にかけて理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系からなる講義および演習とさらに座学で学んだ知識を実践するための実験（情報システム演習実験 I、II、III）を設置する。また4年次にこれまで習得した技能や思考力を発揮して主体的に取り組む卒業研究 I、II を設置して合計 46 単位を履修する(知識・技能、主体性・多様性・協働性)。
- ・選択科目 A 群 I 類および II 類は、社会や生活に役立つ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を多面的な角度から理解するために必要な基本的な思考力・判断力・表現力を習得することを到達目標とし、1年次から3年次にかけて併せて講義および演習 52 単位を選択履修する（思考力・判断力・表現力）。
- ・選択科目 B 群は、グローバル社会が直面する国際的かつ多様な課題を理解するのに必要な基本的知識を習得することを到達目標とし、講義を主として1年次から4年次にかけて授業科目 22 単位を選択履修する。
- ・選択科目のうち B 群 I 類は、英語の実践的な運用能力を習得することを到達目標とし、1年次から2年次にかけて少人数クラスの英語演習科目 8 単位を履修する（知識・技能、思考力・判断力・表現力）。
- ・選択科目のうち B 群 II 類は、英語以外の外国語の基礎的運用能力を習得することを到達目標とし、1年

次から 2 年次にかけて少人数クラスの初修外国語演習科目 4 単位を履修する（知識・技能、思考力・判断力・表現力）。

- ・ B 群Ⅲ類では、教養ある技術者の育成を目的として、社会の一員であることを理解し、活躍できるように、人文・社会科学系の科目を中心に 10 単位以上を履修する（主体性・多様性・協働性）。
- ・ 選択科目 C 群は、主に高等学校の情報の教職としての高度な専門的知識の習得を到達目標とし、教職課程に必要な単位を履修する(知識・技能)。
- ・ 上記の A 群、B 群、C 群科目を合わせて 128 単位以上の習得を通して、社会的責任感のある先導的技術者の育成を目指す。
- ・ 世界で活躍できる技術者としての素養を得ることを目的に、留学希望者には、所定の条件を満たし、プログラムを修了すると本学と派遣先大学双方の大学からそれぞれの修士学位または博士学位を同時に 2 つ取得することができるダブルディグリー制度（大学院への進学が前提となる）や短期・長期の留学制度を設置している。

(2016～2015 年度生)

- ・ 社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発できる人物を育成するために、理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系の科目から構成される必修科目、選択科目 A 群Ⅰ類、Ⅱ類と選択科目 B 群によって構成されるカリキュラムとして設置する。
- ・ 必修科目は、社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を理解するために必要な基本的知識を習得することを到達目標とし、1 年次から 3 年次にかけて理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系からなる講義および演習とさらに座学で学んだ知識を実践するための実験（情報システム演習実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）を設置してあり、合計 42 単位を履修する。
- ・ 選択科目 A 群Ⅰ類およびⅡ類は、社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を多面的な角度から理解するために必要な基本的な態度を習得することを到達目標とし、1 年次から 3 年次にかけて併せて講義および演習 52 単位を選択履修する。
- ・ 選択科目 B 群は、グローバル社会が直面する国際的課題を理解するのに必要な基本的知識を習得することを到達目標とし、講義を主として 1 年次から 4 年次にかけて授業科目 22 単位を選択履修する。
- ・ 選択科目のうち B 群Ⅰ類は、英語の実践的な運用能力を習得することを到達目標とし、1 年次から 2 年次にかけて少人数クラスの英語演習科目 8 単位を履修する。
- ・ 選択科目のうち B 群Ⅱ類は、英語以外の外国語の基礎的運用能力を習得することを到達目標とし、1 年次から 2 年次にかけて少人数クラスの初修外国語演習科目 4 単位を履修する。
- ・ B 群Ⅲ類では、教養ある技術者の育成を目的として、科学技術だけでなく、社会・人間を多角的に理解できるように、人文・社会科学系の科目を中心に 10 単位以上を履修する。
- ・ 選択科目 C 群は、主に高等学校の情報の教職としての高度な専門知識の習得を到達目標とし、教職課程に必要な単位を履修する。
- ・ 上記の A 群、B 群、C 群科目を合わせて 128 単位以上の習得を通して、社会的責任のある先導的技術者の育成を目指す。

(2014～2008 年度生)

- 社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発できる人物を育成するために、理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系の科目から構成される必修科目、選択科目 A 群 I 類、II 類と選択科目 B 群によって構成されるカリキュラムとして設置する。
- 必修科目は、社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を理解するために必要な基本的知識を習得することを到達目標とし、1 年次から 3 年次にかけて理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系からなる講義および演習とさらに座学で学んだ知識を実践するための実験（情報システム演習実験 I、II、III）を設置してあり、合計 42 単位を履修する。
- 選択科目 A 群 I 類および II 類は、社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を多面的な角度から理解するために必要な基本的な態度を習得することを到達目標とし、1 年次から 3 年次にかけて併せて講義および演習 52 単位を選択履修する。
- 選択科目 B 群は、グローバル社会が直面する国際的課題を理解するのに必要な基本的知識を習得することを到達目標とし、講義を主として 1 年次から 4 年次にかけて授業科目 22 単位以上を選択履修する。
- 選択科目のうち B 群 I 類は、英語の実践的な運用能力を習得することを到達目標とし、1 年次から 2 年次にかけて少人数クラスの英語演習科目 8 単位を履修する。
- 選択科目のうち B 群 II 類は、英語以外の外国語の基礎的運用能力を習得することを到達目標とし、1 年次から 2 年次にかけて少人数クラスの初修外国語演習科目 4 単位を履修する。
- B 群 III 類では、教養ある技術者の育成を目的として、科学技術だけでなく、社会・人間を多角的に理解できるように、人文・社会科学系の科目を中心に 10 単位以上を履修する。